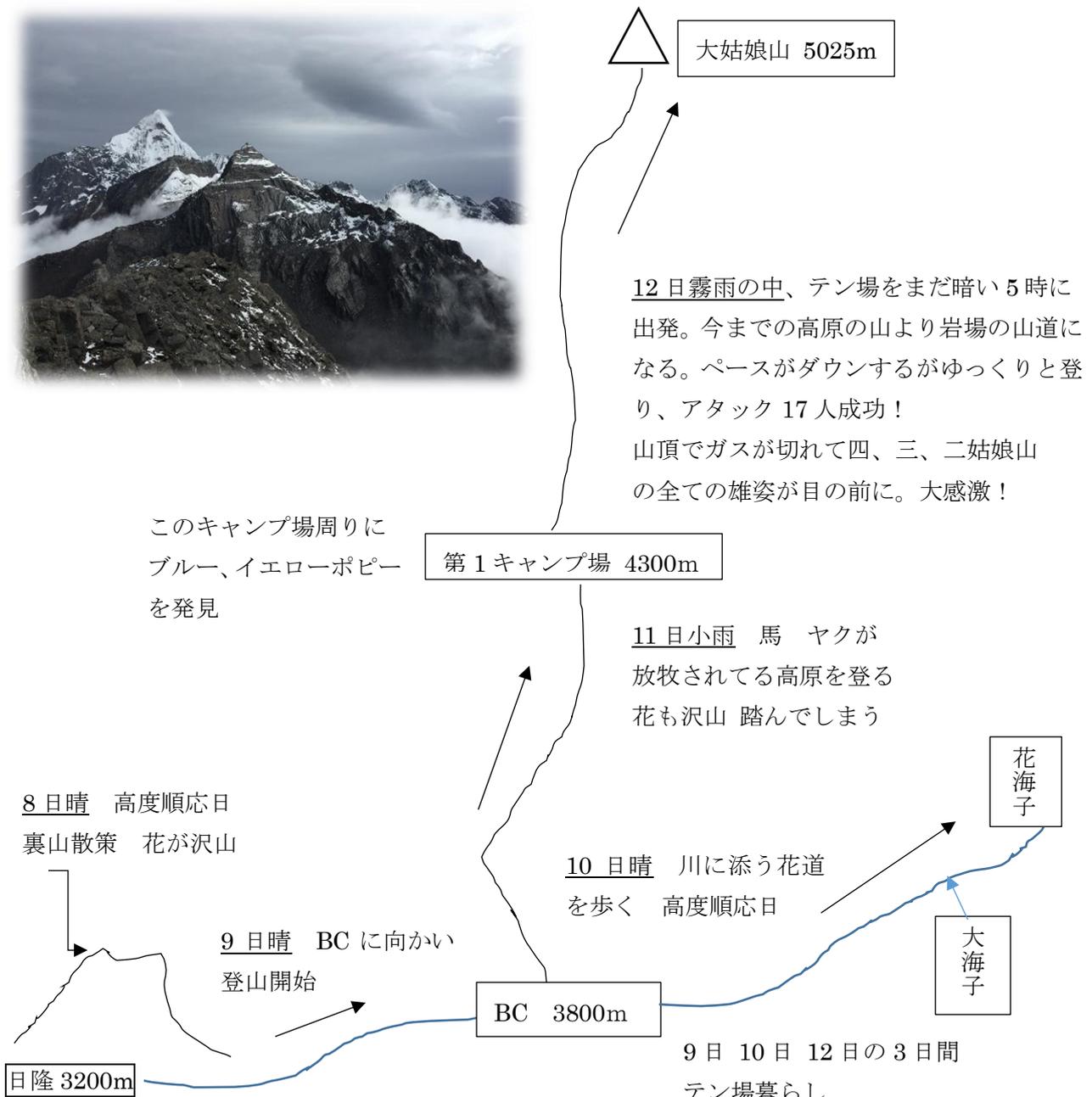


大姑娘山(5025m)

山行日 2019年7月6日(土)～15日(月)

行程 6日成田 17:25ー成都 22:10(時差1時間) 7日成都 7:30ー日隆 12:30 昼食ーホテル 14:20
 8日日隆 9:00～裏山 3850m付近まで～下山後昼食 13:30～14:30(チベット料理) 高度順応日
 9日日隆 9:00～登山ゲート 9:40～BC15:10 3800m
 10日 BC9:00～大海子 9:55/10:15～花海子 11:20/12:00～BC13:45 高度順応日
 11日 BC9:00～第1キャンプ場 13:00 4400m
 12日第一キャンプ場 5:00～大姑娘山 5025m 8:10/25～第一C場 10:05/11:30～BC13:40
 13日 BC6:00～日隆 10:50 昼食 12:00ーパンダセンター14:40/16:30ー成都 19:00
 14日成都市内観光 夜 川劇観賞 15日成都空港 10:30ー成田 17:00



あの素晴らしい風景は、私に何を残したのか？(ちょっぴり哲学的に思考)

「大枚はたいて、何でこんな苦しい思いをするのか」山頂を目指してる時、誰かが呟いた。テント泊4日間。トイレは土を掘った簡易トイレで使用後は自分で土を被せる。優雅なホテル暮らしとはほど遠いのに、はるばるこの地にやって来た。

高山植物の花々は、沢山咲いていて入所禁止の場所はなく、踏みながら登る。

この場所でしか会えない、ブルーポピー、イエローポピーにも会えた。

「何でこんな苦しい思いをするのか」と呟いていた彼女が、霧が晴れて四姑娘山の雄姿を目の前にして「涙が出てくる」と呟いた。

山頂よりBC(ベースキャンプ場)に下りて、高山で禁止されていたビールで乾杯！

皆、十分に心を満たされた素敵な顔になっていた。

非日常より現実に戻り、快く出してくれた夫に少し優しくなっている。これがどれほど持続するかは・・・



右手前より
二姑娘山
三姑娘山
四姑娘山
そして
よく食べ、よく飲み
よくしゃべり
いつも元気だった
松戸山の会メンバー



第1 キャンプ場付近で ブルーポピー



至る所に咲いていたイエローサクラソウ

参加者の声

大姑娘山の山頂から見た 6,000m峰の四姑娘山の姿や、辺りにそびえる白い峰々の雄大な姿には圧倒された。こんな素晴らしい景観を目にすることができた幸運に感謝の気持ちでいっぱいになった。またあこがれだったブルーポピーを第一キャンプ周辺で見つけたときは感激して、疲れを忘れてポピー探しに夢中になった。また、日隆の裏山のお花畑や大海子のサクラソウの大群落も想像以上の素晴らしさだった。

松戸山の会に入会したばかりの頃(約 20 年前)、先輩方がこの地を訪れ、ブルーポピーが沢



山咲いていたとの話は私の心に深く沈殿していた。それが今回の県連の企画で沈殿物は浮き上がり、吉田さんの申し込んだよの声に女性7人参加の一人になる事ができた。一言で「行って良かった！」

高山植物は踏むほど沢山咲いていて(用心しないと馬たちの汚物も踏んじやいそう)山頂よりの風景は、自分がとんでもない所に立っていると思う程の感動でした。

菊地 文子

10日高度順応日 BCより花海子(ホワハイツー)まで歩く
海子は湖の意味 どこまでも花の道

県連の海外登山には初参加でした。

富士山登山で高度順応を済ませ大姑娘山山行に望みました。ところが、中国に入国して2日目 日隆(リーロン)に移動し街を散策し買い物をしたりして何事もなく過ごしていたのですが、夕方頃から頭がズキズキ痛くなり夕食もあまり進まず、このままだと明日の高度順応に参加出来ないと思いガイドさんに相談し、取りあえず鎮痛剤と風邪薬を飲み就寝しました。山頂アタックまで日にちは有るが登頂出来るか心配でした。

翌朝目覚めると夕べの事が嘘のように気分はスッキリ食欲も戻り一安心しました。

その後体調に異変はなく高度順応のトレッキングも沢山の花々に癒されながら楽しく足を進める事が出来ました。そして雲海の上に聳える山頂に立てた事、雪を付けた山々の景色は目に焼き付いています。

今回御一緒して頂いた皆さまには大変お世話になりました、有難う御座いました。

以前から四姑娘山麓のフラワーウォッチングに興味がありました。今年度、県連主催で大姑娘山登頂と高山植物ウォッチングのツアーが企画され会の方も多数参加されるということで思わず参加いたしました。それは想像以上で登山口の街の裏山も高山植物に溢れ、行くところ行くところお花尽くしでした。花を踏むなんて日本では考えられませんが、踏まないに進めない状態に次第に慣れてしまいました。

登頂への興味はなかったのですが、事前にネットで調べると、見たこともない花があるのです。この花が見たくて俄然登頂への意欲が出ました。もちろん、帰りに見ることができ感激しました。

また、大姑娘山に登頂して周りの山々を見た時は思わず涙が溢れてきました。

素晴らしい、楽しい山行でした。

主催して下さった県連の安彦さん、同行の方々、会のメンバーに感謝いたします。

そして、ガイドの宋さんや地元のスタッフの美味しい食事や行き届いた心遣いが思い出されます。皆様、ありがとうございました。

県連の海外登山で、大姑娘山・ブルーポピーウォッチングの山行計画を知り後先考えずに参加申し込みをしました。

高山病に怯えながら・・・馬、牛、ヤクの糞の洗礼を受け、荷馬の黒目がちの優しい瞳に癒されて登った、どこまでも続く素晴らしい天空のお花畑にノックアウトされました。高度順応も、最初こそ辛かったがだんだんと慣れてきて、天気にも恵まれて毎日が花三昧アタックキャンプ周辺で（4300メートル） やっと見られたブルーポピー、高山に咲く逞しさを感じ雨露に濡れた、花びらの繊細さに言葉も無く魅せられました。

アタック当日・・・曇りで展望無し、メンバーに声掛けして貰い、自分でも不思議な位落ち着いていた・・・

喘ぎながら頂上に立った時（5025メートル） 視界が一気に開け・・・あの四姑娘山の姿が、凛々しく、美しく聳える姿に感無量です～ 来て良かった！！

改めて自分が・・・この大自然を甘受しながら、チベットの草原に足を踏み入れる事が出来て、これ以上の幸福があろうか～

出来るならばこの大自然の美しさを後世に残しつつ・・・この地の人達の幸せを祈ります
色々奔走して頂きましたリーダーの安彦さま ありがとうございました。

ご一緒して下さいました皆様・・・お世話になりました ありがとうございました。感謝です。



花の威力でw田ママの足は上がる



今回大姑娘山山行では、中国の山の奥深さ、雄大さに感激でした。またサクラソウ（ピンクと黄色）、キンバイ、ブルーポピーなど高山植物の花が山行中ずっと楽しめました。

私のもう一つの関心は中国文化でしたが、成都での武侯祠、杜甫草堂、川劇など歴史と文化を満喫できた旅でした。今回企画参加させて頂き本当に有り難うございました。

県連の海外登山は今回が初めてで、もちろん中国も初めてでした。先ず一番に気になったのは“トイレ”の事でした。数十年前知人からの話では“ドワ”はないわよと聞いていたので少し心配でした。でも大丈夫だと思っていました。最初に入ったら、やっぱりありませんでした。本当なんだ・・・。場所によるんだということが分かりました。

山は小雨交じりでしたが、珍しい花が綺麗でした。（私には覚えられません笑）山頂にも立つ事が出来て大興奮でした。見たことのない景色を堪能しました。参加出来た事に感謝致します。ありがとうございました。

大姑娘山・・・いつかは登ってみたい山の一つでした。今回県連の海外委員会で企画され、参加させていただくことになりました。どこまでも広がるお花畑・・・このように途切れることがない広大なお花畑を見るのは初めてです。特にブルーポピーを初めて見た時の感激は忘れられません。シャッターを押す手が震えてしまいました。

他のツアーの多くが、毎日雨の中を歩いたことや登頂直前でアタックできなかったことを現地で耳にしましたのでとても不安になりましたが、無事に登頂できただけでなく、二姑娘山、三姑娘山、四姑娘山と見る事ができて本当に幸せでした。

下山後の観光も十分に満喫できて、「中国の生の文化」に触れる事ができて心がとても豊かになりました。

連日の中国料理（四川料理や薬膳料理）にも飽きることなく舌鼓を打ち、体重オーバーで帰国したことが唯一の後悔です！！

松戸山の会から8名も参加し、何より心強かったことが登頂の成功であり、中国文化も楽しめた大きな要因だと思っています。